

Mizuho Daily Market Report

2024/10/2

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	144.19	143.57	▲0.06	+0.34
EUR	1.1116	1.1068	▲0.0067	▲0.0112
AUD	0.6906	0.6883	▲0.0030	▲0.0009
SGD	1.2872	1.2881	+0.0031	+0.0046
CNY	7.0186	7.0187	+0.0000	▲0.0131
MYR	4.1761	4.1570	+0.0335	▲0.0008
THB	32.53	32.59	+0.41	▲0.28
IDR	15200	15200	+60	+15
PHP	56.17	56.16	+0.11	▲0.10
INR	83.82	83.82	+0.02	+0.15
VND	24598	24610	+42	+5

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.732%	▲4.9 bp	+0.3 bp
日本(10年)	0.856%	▲0.5 bp	+4.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.036%	▲8.7 bp	▲11.2 bp
オーストラリア(5年)	3.648%	+6.7 bp	+17.0 bp
シンガポール(5年)	2.478%	+1.8 bp	+6.1 bp
中国(5年)	1.854%	+0.0 bp	+10.9 bp
マレーシア(5年)	3.503%	+0.1 bp	+1.1 bp
タイ(5年)	2.235%	+0.4 bp	+6.5 bp
インドネシア(5年)	6.217%	+3.2 bp	▲0.7 bp
フィリピン(5年)	5.498%	+0.6 bp	▲7.4 bp
インド(5年)	6.667%	▲0.1 bp	▲1.5 bp
ベトナム(5年)	2.030%	+2.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,156.97	▲0.4%	▲0.1%
N225(日本)	38,651.97	+1.9%	+1.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,954.15	▲0.9%	+0.3%
ASX(オーストラリア)	4,525.27	+0.3%	+0.0%
FTSTI(シンガポール)	3,580.96	▲0.1%	▲1.2%
SSEC(中国)	3,336.50	+0.0%	+16.5%
SENSEX(インド)	84,266.29	▲0.0%	▲0.8%
JKSE(インドネシア)	7,642.13	+1.5%	▲1.8%
KLSE(マレーシア)	1,656.39	+0.5%	▲0.8%
PSE(フィリピン)	7,380.32	+1.5%	▲0.7%
SETI(タイ)	1,464.66	+1.1%	+0.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,292.20	+0.3%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	286.37	+0.5%	▲0.4%
金	2,663.23	+1.1%	+0.2%
原油(WTI)	69.83	+2.4%	▲2.4%
銅	9,840.22	+1.5%	+1.8%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	141.60	—	144.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6835	—	0.6960
USD/SGD	1.2760	—	1.2930
USD/CNY	7.0070	—	7.0390
USD/INR	4.0900	—	4.2230
USD/THB	31.90	—	34.05
USD/IDR	15000	—	15350
USD/PHP	55.30	—	56.70
USD/INR	83.30	—	84.00
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は143円台後半で取引を開始。朝方、9月日銀会合の主な意見が公表されると、日銀が追加利上げを急がないとの見方から円売り優勢となった。また、実需のドル買いも相場を押し上げ、仲値前には144円台へ上昇。その後、日経平均株価の下落を横目に一服するも、米金利の反転上昇も追い風に144円台半ばまで値を伸ばし海外時間に渡った。アジア通貨は軟調な値動き。前日海外時間にパウエルFRB議長が11月FOMC会合において大幅(0.50%)の利下げの可能性が低いことを示唆したことを受けドル高が優勢となる中、アジア通貨は軟調な値動きとなった。

海外市場のドル円は欧州時間、クロス円の下落を受けドル円は143円台後半まで反落して米州時間入り。米州時間朝方は、イランとイスラエルの緊張が高まったことからリスク回避の動きが強まり、更に10時に発表された米8月JOLT求人予想を上回った一方、同時に発表の米9月ISM製造業景況指数が構成指数である支払価格の大幅低下や、雇用が低下したことによりドル売りが優勢となり、142円台はまで下落する。その後は有事のドル買いや、軟調な株式市場が下げ渋る展開に、ドル円の下値はサポートされ、143円台半ばまで値を戻してクローズした。

【金利】

米債利回りは中長期を中心に低下。地政学リスクの高まりを受け、債券買いが優勢となる中で金利は中長期を中心に低下。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。昨日発表の日銀会合主な意見からは追加利上げを急がないとの姿勢が確認された他、30日にはパウエルFRB議長が利下げを急がないとの姿勢を維持しており、ドル円は堅調に推移するものと予想。一方で、地政学リスクの高まりによりドル、円ともに買われやすい環境となっておりドル円の値幅としては限定的なものとなるか。

【本日の予定】

(日本) 9月 マネジャーベース
(日本) 9月 消費者態度指数
(アジア) 9月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(アジア) 9月 韓国 CPI
(アジア) 休場 中国
(欧州) 8月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 8月 仏 財政収支
(欧州) 8月 伊 失業率
(欧州) 9月 西 失業者数変化
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 9月 ADP雇用統計
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ハーキン・リッチモンド 連銀総裁講演
(米国) ハマック・クランプト 連銀総裁講演
(米国) ホウマンFRB理事講演
(米国) ホスティック・アトランタ連銀総裁、ハーキン・リッチモンド 連銀総裁、コリス・ホーストン連銀総裁講演
(米国) ムサレム・セントルイス連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。